

開講年次・時期	2年前期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	講義	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NC220	科目名	障害の理解 I	担当者名	芳賀砂智子(実務家教員)
授業の概要	障害のある人の心理や身体機能、社会的側面に関する基礎的な知識を学ぶ。障害特性に応じた制度の理解、基礎的な知識を理解する。ライフステージや障害特性を踏まえて、機能変化が生活に及ぼす影響を理解し、QOLを高める支援について学ぶ。介護福祉施設や居宅介護支援事業所での勤務経験を踏まえ、障害の基礎知識と支援方法について実務を踏まえた授業を行う。				
科目の到達目標	①障害のある人の生活を支援するという観点から、障害の基礎的知識に努める。 ②障害の医学的側面の知識について理解する。 ③障害のある人の生活と障害の特性に応じた支援を理解する。				
DPの観点	③柔軟性(30%) ⑤社会性(30%) ⑥専門知識・技能(40%)				
授業時間外学修(予習・復習)	・テキストの専門用語の予習・復習を行う。 ・予習・復習に関してそれぞれ2時間程度行うこと。				
フィードバックの方法	・コミュニケーションカードに疑問等を附してもらい、授業終わりまたは次の授業で詳しくフィードバックする。				
単位認定の要件	・授業内、決められた期日までの課題提出と、期末試験で合格基準を満たすことを単位認定要件とする。				
評価の方法・割合(%)	・期末テスト(60%) ・提出物(20%) ・授業内活動(20%)				
履修上の注意事項	介護福祉士資格取得必須科目 30分以上の遅刻は欠席とする。遅刻3回で欠席1回とする。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			授業概要、障害の種類や全体像	③⑤⑥	コミュニケーションカード
2			肢体不自由(運動機能障害)	③⑤⑥	コミュニケーションカード
3			肢体不自由(障害の特性に応じた支援)	③⑤⑥	コミュニケーションカード
4			視覚障害	③⑤⑥	コミュニケーションカード
5			聴覚・言語障害	③⑤⑥	コミュニケーションカード
6			重複障害	③⑤⑥	コミュニケーションカード
7			内部障害①(心臓、呼吸器、腎臓、HIV)	③⑤⑥	コミュニケーションカード
8			内部障害②(膀胱・直腸、小腸、肝臓)	③⑤⑥	コミュニケーションカード
9			重症心身障害	③⑤⑥	コミュニケーションカード
10			知的障害	③⑤⑥	コミュニケーションカード
11			精神障害	③⑤⑥	コミュニケーションカード
12			高次脳機能障害	③⑤⑥	コミュニケーションカード
13			発達障害	③⑤⑥	コミュニケーションカード
14			難病	③⑤⑥	コミュニケーションカード
15			これまで学習した内容を整理する。	③⑤⑥	コミュニケーションカード
期末試験			これまで学習した内容の振り返りを行う。		

使用テキスト	『最新・介護福祉士養成講座』第14巻「障害の理解 第2版」中央法規出版 介護福祉士養成講座編集委員会
参考文献 参考URL	『知的障害のことがよくわかる本』講談社 有馬正高監修
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--